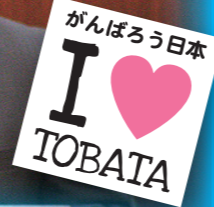
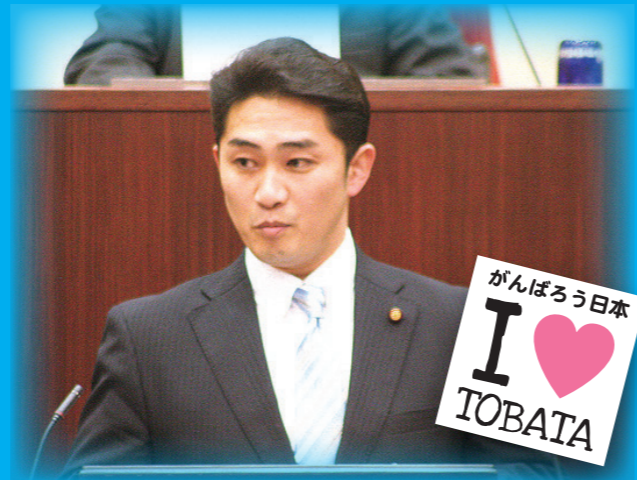


日本一住みたい町、住んで良かったと思える町を目指して。

北九州市議会議員

田中元



発行責任者：田中元

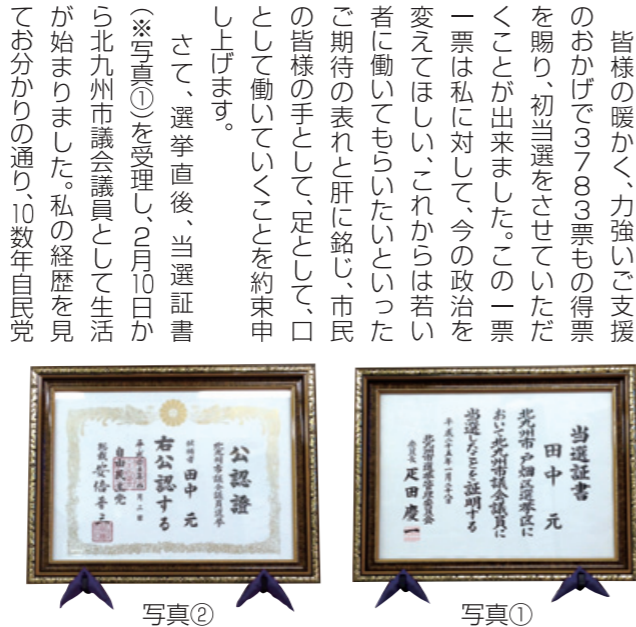
皆様のおかげで3783票もの得票を賜り、初当選をさせていただきました。この一票は私に対して、今の政治を変えてほしい、これからは若い者に働いてもらいたいといったご期待の表れと肝に銘じ、市民の皆様の手として、足として、口として働いていくことを約束申し上げます。

さて、選挙直後、当選証書(※写真①)を受け、2月10日から北九州市議会議員として生活が始まりました。私の経歴を見てお分かりの通り、10数年自民党国會議員の秘書として活動してまいりました。この積み重ねで、市議会議員61名の中で22名という最も多くを有する会派「自由民主党・無所属の会議員団」へ所属することになりました。同時に安倍晋三・自由民主党総裁より同党公認(※写真②)を頂きました。

議会においては、1年生議員はすぐにも壇上に立てて先輩議員からご助言を頂き、私が選挙期間中に訴えてきたことやこれまで市民の皆様から頂いた生の声を初議会の場で市長及び関係局長へ思いっきりぶつけてまいりました。その内容の一部はこの「はじめ通信」の中でも紹介しておりますのでぜひご覧ください。そしてまた、皆様のご意見や要望をお聞かせ下さい。それをもって議会の場で市長及び執行部にぶつけて市政へと反映してまいります。

初志貫徹、常に現場主義でこれからも精一杯職務に全うしてまいります。どうか今後とも暖かく、また変わらぬ力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のおかげで3783票もの得票を賜り、初当選をさせていただきました。この一票は私に対して、今の政治を変えてほしい、これからは若い者に働いてもらいたいといったご期待の表れと肝に銘じ、市民の皆様の手として、足として、口として働いていくことを約束申し上げます。



写真②

写真①



はじめ通信

これからの戸畑...

戸畑D街区

D街区(スポーツゾーン)

- ◆平成28年度
一部共用開始「体育館、武道場、弓道場、テニスコート、室内温水プール等」
- ◆平成29年度末
全面共用開始



戸畑図書館

B街区(文化・住宅)

旧戸畑区役所の再活用「戸畑図書館」(平成25年度内オープン予定)

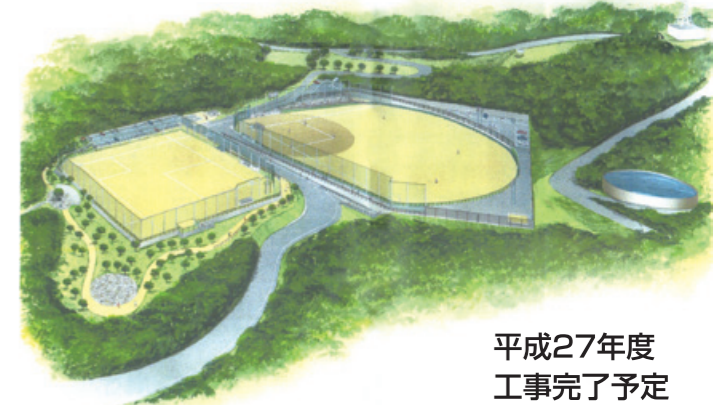


戸畑図書館イメージ図

グランド整備

牧山海岸周辺地区都島展望公園野球場整備

都島展望公園鳥瞰図



平成27年度
工事完了予定

市民の安全を確保し、安心して暮らせるようにしていく為、努めてまいります。



中原東1中目1番、2番、12番、14番交差点

周辺住民の方から...「優先道路が明確でなく車両事故が多い。」
「この周辺は子ども達も多く通るので危険。」などといった危険を察知する要請がありました。さっそく区役所と警察と協議し優先道路を明確にすることができました。



中原新町1番地 テクノセンター、新日鐵住金飛幡門付近

若戸トンネル開通に伴い、平成25年に開通した新たな道路もテクノセンターや新日鐵住金、若戸トンネルへのアクセスも良くなったものの死角も多く危険との要望があり、区へ働きかけ他に改善する箇所もありますが、取り急ぎカーブミラーを設置する運びとなりました。



一校3丁目2番、3番、6番 マルショク裏側三叉路

大型スーパーができ交通量が多くなり自動車や自転車等の危険を察する事案が増えた為、カーブミラーを設置してほしいとの地域の方の要望を受けて区に要望し、設置しました。



このような要請がございましたらお話を聞かせて下さい。



参院選応援のとき



ベトナムへ水事業の視察のとき



祖父の写真と



麻生太郎先生と



予算特別委員会



行政視察のとき

田中元事務所

〒804-0082 北九州市戸畑区新池2-6-1
TEL.093-873-2061 FAX.093-873-2062
http://tanaka-hajime.info/

自由民主党・無所属の会 控室

〒803-0813 北九州市小倉北区内1-1
TEL.093-582-2668 FAX.093-582-4950

フェイスブック更新中!!

田中元 北九州市

検索

フェイスブック



田中元プロフィール

学歴

- 戸畑天使園
- 北九州市立中原中学校
- 北九州市立一校小学校
- 九州国際大学付属高等学校
- ハワイ州立ハワイ大学語学留学

会派

- 自由民主党・無所属の会
- 常任委員会
- 教育水道委員会

地域活動

- 戸畑中央小学校PTA会長 (H24~)
- 戸畑区スポーツ推進委員会 (H24~)
- 西戸畑まちづくり協議会委員 (H21~)
- 戸畑消防団第一分団団員 (H21~)
- 戸畑祇園 中原大山笠 総監督 (H22、H23)
- 戸畑区遺族会顧問 (H25~)

お問合せ

平成25年2月定例会 一般質問(第一質問)

※質問、答弁ともに主要部分を抜粋

【児童館の立地について】

質問:田中元

学校内に設置するか、それがスペース的に困難であれば、学校と隣接した場所に設置といった移設または増設する計画があるのか、見解を伺う。

答弁:子ども家庭局長

クラブ利用者の増員に伴う増設の際などには、児童の安全性や利便性、学校との連携なども勘案しながら施設整備を検討したいと考える。



【学童保育の運営時間について】

質問:田中元

共働きの保護者のために一律7時まで延長することができないのかお尋ねする。

答弁:子ども家庭局長

今後、放課後児童クラブの利用に関する調査も予定しておりまして、こうした結果も踏まえ、開設時間も含めクラブの運営のあり方についても検討する。

【通学路の安全確保について】

質問:田中元

今後、警察と行政、地域などの連携の強化並びに通学路の安全点検など、継続的に進めていくべきと考えるが、本市の今後の取り組みについて見解を伺う。

答弁:市長

市内全ての小学校で建設局、警察署との情報の共有や緊急の合同点検を実施。今後も教育委員会や地域の方々、警察、道路管理者が一層連携を密にして、ハード、ソフト合わせて各種施策を積極的に展開し、通学路における子ども達の安全確保に努める。

質問:田中元

新日鐵住金八幡製鉄所の戸畑地区と八幡地区を結ぶ釜沢線の鉄道について提案。かつて戸畑、八幡地区の発展のシンボルでもあった釜沢線を※塞ぎ※ぶたをするという意、通学路はもとより、遊歩道

、緑化などの整備をしてはどうかと考えますが、見解を伺う。
答弁:建設局長
工場の稼働に重要なガス管や窒素管設置されており、維持管理に支障を来すことから現実的には難しい。

【小中一貫・連携教育について】

質問:田中元

本年25年度より市内全ての小・中学校において一貫・連携教育を実施することですが具体的などのような取り組みをし、最終目標、到達点をどこに置いているのかお尋ねする。

答弁:教育長

25年度から全中学校区において年間指導計画書やその実施体制を整えて学習指導上、生徒指導上の課題に組織的、計画的に取り組むこととしている。具体的には、まずは児童生徒や地域の課題、実情などに応じて、出来ることから取り組むこととしている。

質問:田中元

校長を含め、教員の意識改革が必要と考えるが、小中の教員の連携、交流を図るためにどのような取り組みをしているのかお尋ねする。

答弁:教育長

各中学校区で小・中学校教職員の合同研修会や中学校教員による小学校への出前授業など、これまでの充実から始め、徐々に9年間を通じた家庭学習時間の育成や小学校高学年からのルールづくりなど新たな取り組みにも挑戦して頂き、最終的には9年間を通じた教育課程の編成や小学校における一部教科等の専科指導にも取り組んでいきたい。

本市の小・中学校の教職員がチームワークを最大限に発揮して取り組めば、本市の課題である児童生徒の学力、体力の向上やいじめ、不登校の防止が図られ、ひいては子どもが安心して通える学校を実現することが出来る。

教職員の意識改革が重要である。小中学校の教職員が義務教育9年間で子ども達を育てるといった意識を持ち、主体的に取り組むことが求められている。教職員を対象の研修やシンポジウム等を開催し、小中一貫連携教育の意義や目的などについて丁寧に説明を行うとともに、保護者や地域の方々への普及啓発も行うなど今後とも働きかける。

【災害時における高齢者、障がい者などの避難支援について】

質問:田中元

東日本大震災や九州北部豪雨災害などの発生により、災害に対する意識が有識者だけでなく、市民の中でも大変高くなっている。

本市でもこうした災害時に高齢者や障がい者の避難を支援する要援護者避難支援事業を推進していると聞かすが、その取り組みや今後の展開について尋ねる。

また、聴覚障がい者や認知症の高齢者の避難を円滑にするため、要援護者の支援者を対象とした手話教室や認知症サポーター養成講座などを実施してみてはと考えるが見解を伺う。

答弁:保健福祉局長

本市では、災害時の市民への避難情報等の伝達方法を想定している。聴覚障がいの方も含めて、情報機関の協力によるテレビの文字放送、もらって安心災害情報配信サービスという電子メールがある。ホームページの防災情報北九州、また、Facebookによる個別の通知、こうしたことを中心に災害情報を広報することとしている。

提案の手話は、聴覚障がい者とのコミュニケーションの方法の一つだが、本市では手話奉仕員や手話通訳者の養成講座を行っている。しかし、厚生労働省によると聴覚障がい者で手話を使える方は実は2割と少ないことから、緊急時の対応としては筆談や身振り等が有効と考える。

要介護者の支援は特定の支援者はもとより、地域全体で支えることが重要になってくると考える。認知症講座の受講を引き続き広く市民に呼びかけ、地域での協力体制の整備に取り組む。

【買い物弱者対策について】

質問:田中元

高齢社会の進展や人口の減少、身近な商店街や市場の衰退や撤退、公共交通機関の採算重視による首相や撤退などのため、日常の買い物をしたり生活に必要なサービスを受けることが困難な方、いわゆる買い物弱者が増えている。

本市はこれまでも買い物弱者のための施策を様々な形で進めておられますが、本市と市内の民間業者がこうした買い物弱者のためのサービスを協働で行った例はあるのか、また、そうした場合、その民間業者に対して補助金などのインセンティブはあるのか伺う。

質問:田中元
小中だけの連携ではなく、保育所、幼稚園、高校、そして大学までも見据えた連携教育が必要だと考えるが見解を伺う。

答弁:教育長

教職員がそれぞれの段階での教育を見通し、自らの役割の基本を再確認し、広い視野に立って教育活動の改善、充実を図っていくうえで有意義であると考えている。小中連携とともに保幼小の連携も取り組んでいる。今後本市にある高校や大学なども連携を進め、地域にある教育資源や学習環境を活用して学校生活をより豊かにするとともに、子ども達の同士の交流や経験を広げる連携にも取り組んでいく。



【5つめ問題について】

質問:田中元

問題は常にどこかにあるものだと思える。いじめ問題は発生しないようにするだけでなく、発生した場合の対処についてもしっかりとした対策を講じなければならぬと考えるが見解を伺う。

答弁:教育長

いじめはどの学校でもどの子どもにも起こり得る問題と認識し、被害を受けた子どもにも立ち迅速な対応を基本とし、職員でチームを組織し、指導方針を共通理解した上で共同体制を確立する。家庭訪問や面談による対応策など保護者との連携。関係児童生徒への聞き取り、謝罪、和解、再発防止の指導、スクールカウンセラーとの連携によるカウンセリングの実施。学校と教育委員会が積極的に連携し問題の解決に粘り強く対応している。

来年度から第三者委員会を開催し、客観的かつ専門的な立場から助言、点検などをいただくこととしている。

【学力向上について】

質問:田中元

教育長が子ども達の学力を上げるといった熱い思いを持って行動しなければ校長や教職員にも伝わりません。学力の低い地域に住みたくないといった家

答弁:市長

地域の生活機能を維持する観点から、商業者支援、高齢者の支援、交通対策あるいは、地域コミュニケーションの強化などに取り組んできた。民間事業者との協働した事例は、商業振興の立場から支援して4つの事例がある。これらは本市の商店街活性化の支援メニューを活用したものや、経済産業省や福岡県の補助を受けて実施したものである。

今後とも国、県、市の買い物支援の補助制度などを広くPRすることによって、買い物弱者の問題に取り組む商店街などを支援する。

【おでかけ交通について】

質問:田中元

本市はバス路線廃止地域や高台地区の交通手段を確保するため、おでかけ交通事業を実施している。買い物弱者にとっておでかけ交通は身近で便利な交通手段である。買い物弱者対策としてのおでかけ交通の取り組み状況及び今後の支援強化についてお尋ねする。

答弁:市長

現在、高台地区対策として、2地区で本格運行、バス路線廃止対策として4地区で本格運行、1地区で試験運行が実施されている。既に運行しているおでかけ交通は地域住民の意見を考慮し、商業施設、病院、金融機関など日常生活に必要な施設を経由する形で運行ルートが設定されている。高齢者の買い物や病院などにも利用されるのでおでかけ交通は買い物弱者対策の一つとして考えている。

今後もおでかけ交通の導入を希望する地域があればこれまでと同様、市が地域に向き、事業内容や他の地区での取り組み事例を説明するなど導入に向けて地域へのきめ細やかな支援を行っていききたい。

